

# 白石城

## 元和元年一國一城令例外の城

白石城天守閣は、平成7年（1995年）3月に復元されました。明治7年（1874年）に取り壊されて以来120年ぶりの再現です。歴史を永代に伝えるため文化財の保護を重視し、発掘調査を行い、日本古来の建築様式に基づき史実に忠実に復元されました。数百年の歳月に耐え得る、全国的にも数少ない木造復元は、学術的にも高い評価を得ています。



## 戦後最大の木造復元天守閣

天守閣は三階で、1階は東西九間×南北六間、三階は東西5間×南北三間の広さがあり、高さは石垣天端から16.7メートル、戦後の木造復元天守閣では高さ、広さとも日本最大級を誇ります。城郭建築では日本で初めてのことです。

## 白石城の石垣

天守閣と土壁の始まる部分からの石垣を見ると石積みが違います。天守台にあたる部分は野面積みといいます。自然石をほとんど加工せずに、短時間に積み上げ可能な工法です。戦国時代の石垣はほとんどこの工法です。土壁の始まる所から、大手門にかけては、石の前面を加工し石と石の間に間詰め石を入れる技法です。打ち込みハギといいます。大手一ノ門と大手二ノ門の空間は虎口といい、虎口の土壁に石落としの他に四画と丸い穴が空いています。四角の穴が矢を射り、丸い穴が鉄砲を撃つ所です。



## 天守閣内部

天守閣は普段、殿様が住まいとしていたものではなく、武器等の保管場所になっていました。一、二層の外壁回りは武者走りと言って、戦闘状態になったときに、武具を付け武器を持った武士達が走り回るため板張りになっています。一層の北側と西側に石落としがあり、石類も保管されていたと思われます。

三層は物見櫓の役割をかね、高欄が四周に廻り、火頭形の出入り口がついています。室内は畳30畳くらいあり、敵の情勢を見ながら軍議を開くことも可能だったと言われています。高欄からは白石城下が一望出来、蔵王連峰をはじめ自然の豊かな四季の景色が堪能できます。

天守閣は昔ながらの工法を用い、和釘以外の補強金具は使われていません。木材は柱が吉野檜、化粧材は青森ヒバ、山陰地方の松丸太、赤杉とすべて国産材で造られています。

耐用年数はおよそ250年を想定しています。

外壁は、当地方の土蔵と同じ造りで土塗りを何度も繰り返して、漆喰で仕上げられています。外壁の厚さは21~24cmあり、日本古来の耐久構造です。付櫓に壁の見本がありますのでご覧ください。

## 白石城主 伊達の先陣「片倉小十郎」

### 初代片倉小十郎景綱（1557~1615）

出羽国置賜郡下長井宮村（現長井市）、米沢八幡神社神主片倉部影重を父とし、本沢刑部真直女を母として生まれる。伊達輝宗に見出され梵天丸（後の政宗）の傳役となり、終生政宗につかえました。独眼竜の右目とも言われ、智勇兼備の将でした。

### 二代片倉小十郎重長（1584~1659）

景綱を父として、矢内重定女を母として生まれる。はじめ重綱の名であったが、正保二年將軍家光嗣子家綱の諱字を避けて重長と改名。徳川幕府の存亡をかけた大阪夏の陣で、大阪方の強豪真田隊と激闘、道明寺合戦では後藤又兵衛を討ち取り「鬼小十郎」の名を広く知らしめました。大阪方、真田幸村の息女阿梅はのちに重長の後室となります。

### ■白石城開館時間

9:00~17:00（4月~10月） 9:00~16:00（11月~3月）

休館 12月28日~12月31日

# 歴史探訪ミュージアム

片倉家ゆかりの品々や、白石城復元の過程を紹介した展示室及び立体ハイビジョンによる上映室などがあります。  
また、白石市の地場産品と白石城のお土産を中心とした売店、レストランもあります。

- ◇ 1階 レストラン・売店
- ◇ 2階 資料展示室（無料）
- ◇ 3階 立体ハイビジョンシアター



## [主な展示物]

- 白石城城下模型
- 白石城本丸模型
- 白石城建築過程の解説
- 白石城主の返遷
- 片倉家の伝承品

## [立体ハイビジョンシアター]

200インチの立体ハイビジョンと、臨場感あふれるサウンドシステムを通して、戦国時代にタイムスリップしたかのような迫力の立体映像が体験できます。

## ハイビジョン上映時間

賊にはあらず		鬼小十郎帰るに及ばず	
開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
10:00 ~ 10:30 (4月~10月土・日・祝のみ)		10:30 ~ 11:00	
11:00 ~ 11:30		12:00 ~ 12:30	
13:00 ~ 13:30		14:00 ~ 14:30	
15:00 ~ 15:30			

## ■ミュージアム開館時間

9:00~17:00 (資料展示室・売店)

11:00~15:00 (レストラン) 休館 12月28日~12月31日

# 武家屋敷

(宮城県指定文化財)

この屋敷は、宝暦11年(1761年)の白石城下絵図に「小関右衛門七」とあり、鬱蒼とした庭樹でおおわれ、前面、側面を清れつな流が巡り、景観にも優れたものがあります。平成3年(1991年)に母屋・門・塀が小関家から白石市に寄付されたのを機に全面的に修復されました。  
解体時に発見された「享保15年2月12日」(1730年)の墨書によって260余年前の古い建築であることが明らかになりました。

## ■武家屋敷開館時間

9:00~17:00 (4月~10月) 9:00~16:00 (11月~3月)  
休館 12月28日~12月31日

★白石城からは徒歩約10分です。



入館料が必要な所は、白石城天守閣(大人300円、子供150円)  
立体ハイビジョンシアター(大人300円、子供150円)  
武家屋敷(大人200円、子供100円)  
三館まとめた共通券は(大人600円、子供300円)です。

天守閣入口近くの券売機か、歴史探訪ミュージアム入口の券売機でチケットを購入して下さい。

※20名様以上は団体で2割引になります。ミュージアム一階の団体受付窓口でチケットを購入して下さい。

## ■白石城管理事務所

〒989-0251 白石市益岡町1-16 TEL 0224(24)3030

FAX 0224(24)3033